



東京都立鹿本学園 学校通信 令和8年2月20日号

学びの虹

東京都立鹿本学園

校長 堀江 浩子

東京都江戸川区本一色2-24-11

電話 03-3653-7355

子供達から学ぶこと

~本校は悪者ぞろいのチーム!?です

令和8年2月14日(土)駒沢オリンピック公園総合運動場において、ハンドサッカー大会が開催。本校は水元小合学園と合同チームで出場です。ボールをつないで、つないでシューターに届けるプレイヤーと個々の実態に応じてシュートするシューターに分かれて行うゲームです。(都立肢体不自由校の先生方が考案)。

本校は2回戦勝ち上がり決勝戦へ。惜しくも敗れ準優勝。

しかし、本校のチームは「大人が学ぶこと」があります。一つは、ベンチ・応援席含め、掛け声とともにシューターへ応援。他校にはないチームワークです。

二つめは、試合後、「僕が丁寧にまわせればよかった」「あせってしまった」と自分の反省(悪者)ばかり口にします。誰のせいにすることなく「悪者ぞろい」のチームです。「他者を思いやる行動や言動」や「他者を認める姿勢」があふれるチームです。その土台を築いていただいた保護者の皆様、学校スタッフに感謝します。

実は、「悪者ぞろいの家」というお話があります

簡単に話します

ある村に隣り合って暮らす二軒の家がありました。7人家族族ですが仲の良い家の人に、3人家族ですが仲の悪い家の主(あるじ)が、こう尋ねました。

「私の家では、ケンカが絶えないのに、そちらではどうして仲がよいのですか？」

仲の良い家の人は、こう答えました。

「それは私たちの家には悪者ばかりが居て、あなたの方の家には善人ばかりが居るからですよ。」

仲の悪い家の人は納得がいかず、再びこう尋ねました。「7人が集まれば、いよいよ仲が悪くなるのは、喧嘩がないのは、悪者ばかりだとはどういうことですか？」

仲の良い家の人は、再びこう答えました。

「私の家では何か問題が起きたときに、『私が悪かった』『私が不注意だった』『私が軽率だった』などと、皆が競って悪者になるので、喧嘩が起きようがないのです。

多分、貴方の方では、皆が善人になろうとして、『あなたが悪い』『あなたが不注意だ』『あなたが軽率だ』などと、相手に罪を負わせ、自分の罪を逃れようとするので、喧嘩が絶えることがないのです。」

この話を聞いた3人家族の主は目を覚まし、以後、お互いに譲り合うことで家族は円満になりました。

「座右の寓話」(戸田智弘著 デイスクヴァー出版)

「思いやる・認め合う・譲り合う」精神を大切にしていきます

皆様も感じられていると考えますが、最近、少しのミスや失敗をSNS等で、一斉にたたき始める風潮があります。また「カスハラ(カスタマーハラスメント)」。店側に正当なクレームではなく、社会通念上限度を超える謝罪要求や暴力暴言等のお客が増えている状況です。とても切なくなります。いわゆる「他責思考(たせきしこう:問題や責任は全て他者にある)」が多くなっているのかもしれない。

本校は昨年度に引き続き、学校評価において、学校の取組を非常に高く評価していただいています。感謝の言葉も頂戴し、大規模校の悩みである教室の手狭があっても受け止めていただいています。ありがとうございます。学校も、様々なことに対して「じぶんごと」として捉え、今後も誠実に対応していきます。

～部活動紹介～

鹿本学園スポーツ競技部『バンビーズ』絶賛活動中！

S 部門中学部、高等部生を対象に、部活動参加希望者で「スポーツ競技部」として活動しています。活動日は、主に土曜日の午前中です。体育館等を使って皆でスポーツに触れ、楽しみながら一緒に汗をかいています。取り組んでいる競技は、陸上競技(6月の東京都障がい者スポーツ大会に向けて)、ボッチャ(年間を通じて様々な大会に参加)、ハンドサッカー(2月に東京都大会に参加)です。ボッチャは、今年度「第10回全国ボッチャ甲子園」に出場するなど結果を競う大会はもちろん、みんなが楽しんで参加できるレクリエーション大会もあり、学習グループや身体の状態を問わずに皆で楽しんでいます。また、東京都発祥のハンドサッカーは、障害の状態にかかわらず全ての生徒が参加でき、全ての生徒が輝き活躍できる魅力的な球技スポーツです。今年度は2月14日(土)に駒沢オリンピック公園総合運動場で都大会が開催され、水元小合学園と合同チームを組み、準優勝という結果を残すことができました。来年度も頑張ります。

S 部門中学部：嶋本 凱斗

